

## 第1 歳出

### 1 一般会計

#### (1) 議会費

事業名等	事業費	内容と成果
1 音声反訳議事録作成システム  (議会事務局)	3,749,507 円	音声反訳議事録作成システムにより自動反訳された記録の編集作業を委託することにより、会議録作成の迅速化を図った。 ・音声反訳議事録編集委託料 1,274,867 円 ・音声反訳議事録作成システム保守委託料 730,800 円 ・電算機借上料 267,120 円 ・音声反訳議事録作成システム使用料 1,476,720 円

#### (2) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 もくせい会館外壁タイル落下防護工事 (契約管財課)	1,575,000 円	もくせい会館外壁等調査結果に基づき、外壁等改良工事実施までの間、防護ネットを設置するため、外壁タイル落下防護工事を実施した。
2 職員定期健康診断 (職員課)	2,694,253 円	職員の健康管理の充実及び疾病の早期発見を図るため、50 歳以上の男性職員希望者に対して、前立腺がん検診を定期健康診断の新たなメニューに加えて実施した。 ・職員定期健康診断委託料 2,694,253 円 うち前立腺がん検診分 44,730 円(受診者数 15 人)
3 印刷機借上 (情報システム課)	1,370,628 円	自動印刷機が老朽化したため、機器更新を行い、市民向け資料等の作成事務の効率化を図った。 ・借上台数 2 台(うち 1 台は多機能カラー印刷機) ・借上期間 平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで ・月額借上料 114,219 円
4 声の広報作成委託 (秘書広報課)	1,752,449 円	視覚障害者のために作成している「声の広報」の録音媒体を「カセットテープ版」から「デジター方式の CD 版」(デジタル録音図書の国際標準)に変更し、利用者の利便を図った。
5 わたしの便利帳作成 (秘書広報課)	0 円	行政情報の周知、まちの再発見及び地域活性化を図るため、四色刷りで見やすさに配慮し、イベント等の身近な情報、行政情報、医療情報等を掲載した「ふっさわたしの便利帳 2011」を作成し、全戸配布を行った。 なお、官民協働(P P P)事業(事業費は、地域の各団体及び事業者からの広告料)により、市の負担はない。 ・作成部数 A 4 判 32,000 部 ・広告協力事業者 149 社
6 外国人のための生活便利帳作成委託 (秘書広報課)	1,359,540 円	平成 17 年度に作成した便利帳の改定版を作成した。 ・作成部数 A 5 判 3,000 部(各 1,500 部) ・2 分冊 1 日本語・やさしい日本語・中国語・ハングル語 2 日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語

事業名等	事業費	内容と成果
7 ホームページ管理事業 (システム改良)  (秘書広報課)	8,438,850 円	<p>トップページのデザイン、レイアウトなど、利用者のニーズを意識した見出し配置に変更し、障害者・高齢者に対応したアクセシビリティ及びユーザビリティへの配慮など、見やすさ、探しやすさを重視したシステム改良を行った。</p> <p>また、携帯版(モバイル向けサイト)ホームページも作成し、利用者への情報提供の利便性を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム改良委託料 7,245,000 円</li> <li>・データ入力委託料 1,039,500 円</li> <li>・電算機借上料(パソコン機器) 154,350 円</li> </ul>
8 ホームページ管理事業 (自動多言語翻訳システム)  (秘書広報課)	654,150 円	<p>ホームページコンテンツを画面上で翻訳する自動多言語翻訳システム(英語、中国語(簡体字・繁体字)及び韓国語)に、スペイン語及びポルトガル語を追加し、外国人などへの情報提供を充実するとともに、利便性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳回数 5,516 件</li> </ul>
9 財務会計システム更新事業  (財政課)	7,848,193 円	<p>リース期間が経過したシステム機器の更新を行うとともに、プログラムについても新しいソフトへ更新を行い、事務の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新財務会計システム使用等(機器借上含む) 契約期間 平成 23 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで 料金総額(60 か月) 20,143,620 円</li> <li>・新システム分(平成 23 年 10 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで) 財務会計システム保守委託料 2,085,300 円 財務会計システム更新委託料 1,260,000 円 財務会計システム使用料 1,575,000 円 財務会計システム機器借上料 439,362 円</li> <li>・旧システム分(平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで) 財務会計システム使用料 137,025 円(財政管理費) 財務会計システム保守委託料 1,644,300 円(財政管理費) 電算機借上料 49,140 円(電子計算機費) 電算機保守委託料 350,752 円(電子計算機費) 源泉徴収プログラム使用料 36,414 円(会計管理費) 源泉徴収システム保守委託料 270,900 円(会計管理費)</li> </ul>
10 ファイルサーバ更新事業  (情報システム課)	519,897 円	<p>職員の情報共有及び事務の効率化を目的として平成 18 年度に構築したファイルサーバについて、老朽化に伴う機器の更新を行うとともに、容量を増加し、新たに専門業者による保守委託を開始することにより、安定稼働を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルサーバ更新委託料 52,500 円</li> <li>・電算機借上料 265,272 円</li> <li>・電算機保守委託料 202,125 円</li> </ul>
11 セキュリティ診断委託  (情報システム課)	1,624,875 円	<p>国が策定した「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠するために、現行の福生市情報セキュリティ規則及び対策基準を改正した。(平成 24 年 4 月 1 日施行)</p> <p>また、前年度に引き続き、福生市の情報セキュリティポリシーを職員がどの程度遵守しているかを自己診断し、専門業者にレポート作成を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティ診断委託(ポリシー改定支援) 1,414,875 円</li> <li>・セキュリティ診断委託(セルフチェック講評レポート作成) 210,000 円</li> </ul>

事業名等	事業費	内容と成果
12 軽トラック購入  (安全安心まちづくり課)	1,235,990 円	駅前放置自転車等の撤去用軽トラックを垂直式リヤゲートリフター付きに買い換え、自転車等の上げ下ろしの負担軽減を図った。
13 町会・自治会貸与備品購入  (協働推進課)	2,120,895 円	地域住民の集会や交流のための活動拠点であり、地域活性化の拠点となる町会・自治会の会館に、地上デジタルテレビ等を貸与し、地域住民の福祉の向上を図った。 ・地上デジタルテレビ 21 台 ・UHF アンテナ 14 基 ・テレビ電波増幅器 14 台 ・ブルーレイレコーダー 18 台 ・テレビラック 17 台
14 町会等会館建設費補助金  (協働推進課)	36,057,000 円	地域住民の活動の場である会館の建設、外壁工事及び設備工事に補助金を交付することにより、地域住民の福祉の向上を図った。 ・熊川牛浜町会 熊牛会館建設費補助金 35,000,000 円 ・鍋ヶ谷戸第一町会 明神会館霧避け 273,000 円 ・牛浜第一町会 牛一会館空調設備及び外構工事 784,000 円
15 町会会館等運営費補助金  (協働推進課)	2,684,655 円	町会会館等の光熱水費及び土地建物の借上料に対して、経費の一部を補助し、地域住民の福祉の増進を図った。 ・光熱水費(22件) 1,696,655 円 ・地代(7件) 988,000 円
16 福東会館門扉設置工事  (協働推進課)	430,500 円	福東会館の資源回収拠点入口に門扉を設置することにより、閉館中の安全性・防犯性を強化した。
17 福東会館外壁改良工事  (協働推進課)	7,649,250 円	福東会館のタイルの落下防止のため、ピンによる固定及び目地詰め工事を行い、施設の適正な維持管理を図った。
18 福東会館給水施設改良工事  (協働推進課)	609,000 円	施設の老朽化に伴い、給水ポンプを撤去し直結給水に切り替え、施設の維持管理の向上を図った。
19 防犯設備整備事業補助金  (安全安心まちづくり課)	971,000 円	福生駅東口繁華街の商店会及び町会で構成された「福生東口防犯協議会」が実施する防犯カメラ等の設置事業に対し、費用の一部を助成し、犯罪の抑止、予防、再発防止等の防犯対策の向上を図った。 (地域における見守り活動支援事業補助金を活用)
20 私立幼稚園システム導入委託  (子ども育成課)	1,197,000 円	私立幼稚園園児の保護者に対する補助金の算定、決定処理等を行うシステムを導入し、事務の効率化を図った。

事業名等	事業費	内容と成果
21 第 68 回国民体育大会 福生市実行委員会補助 金  (国体推進室)	3,666,951 円	<p>平成 25 年に開催されるスポーツ祭東京 2013 における第 68 回国民体育大会の競技会(ソフトボール競技(成年女子))の成功に向けて、関係機関・団体等の代表者により組織された「スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会福生市実行委員会」に対し補助金を交付することにより、当該大会の開催準備を推進した。</p> <p>スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会福生市実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設立(改組・移行)日 平成 22 年 8 月 22 日(日)</li> <li>・委員等 会長 1 名 副会長 8 名 常任委員 33 名 委員 33 名 顧問 5 名 参与 22 名 監事 3 名 計 105 名</li> <li>・専門委員会専門委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>総務・企画専門委員会 16 名</li> <li>競技・式典専門委員会 21 名</li> <li>宿泊・衛生専門委員会 11 名</li> <li>警備・輸送交通専門委員会 14 名</li> </ul> </li> </ul>
22 市税等収納代行業務委 託(市税分)  (収納課)	1,339,650 円	平成 23 年度からコンビニエンスストア等でも市税を収納できるよう、収納代行業務を委託し、納税環境の整備・充実を図った。
23 結婚記念品の贈呈事業  (総合窓口課)	560,700 円	<p>福生市へ婚姻届を提出し、かつ、住民登録又は外国人登録が福生市にある夫婦を対象に、結婚記念品として「写真立て」を贈呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・贈呈件数 240 件</li> </ul>
24 住民基本台帳システム 改良委託(外国人登録 者に対する仮住民票作 成機能追加)  (総合窓口課)	3,675,000 円	<p>平成 24 年 7 月 9 日施行の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人住民も住民基本台帳法の適用となり住民票が作成される。</p> <p>その準備として、平成 24 年 5 月 7 日を基準日として仮住民票を作成し、発行する必要があることから、現行の住民情報システムに仮住民票作成、発行機能等を追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人登録者数 2,502 人 1,412 世帯(平成 24 年 3 月 31 日現在)</li> </ul>
25 住民基本台帳法に基づ く実態調査  (総合窓口課)	510,570 円	<p>平成 24 年 7 月 9 日施行の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人住民も住民基本台帳法の適用となる。</p> <p>住民基本台帳の正確な記録を把握するため、調査員が現地に行き調査を行う必要がある。その準備として、調査資料の作成のため嘱託職員 1 名を雇用した。(東京都緊急雇用創出事業を活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象者数 193 人、186 世帯</li> <li>・外国人登録記録と法務省データとの突合作業の実施 突合対象者数 2,585 人</li> </ul>
26 東京都知事選挙の執行  (選挙管理委員会事務局)	9,294,090 円	<p>平成 23 年 4 月 22 日任期満了に伴う東京都知事選挙を執行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・告示日 平成 23 年 3 月 24 日(木)</li> <li>・投票日 平成 23 年 4 月 10 日(日)</li> <li>・当日有権者数 47,431 人</li> <li>・投票者数及び投票率 26,772 人 56.44%</li> <li>・総事業費 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年度分 17,748,466 円</li> <li>平成 23 年度分 8,454,376 円</li> <li>平成 23 年度分 9,294,090 円</li> </ul> </li> </ul>

事業名等	事業費	内容と成果
27 福生市議会議員選挙の執行  (選挙管理委員会事務局)	21,289,568 円	平成 23 年 4 月 30 日任期満了に伴う福生市議会議員選挙を執行した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>告示日 平成 23 年 4 月 17 日(日)</li> <li>投票日 平成 23 年 4 月 24 日(日)</li> <li>当日有権者数 46,920 人</li> <li>投票者数及び投票率 23,492 人 50.07%</li> <li>総事業費 23,017,768 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年度分 1,728,200 円</li> <li>平成 23 年度分 21,289,568 円</li> </ul> </li> </ul>
28 福生市農業委員会委員選挙の執行  (選挙管理委員会事務局)	101,515 円	平成 23 年 7 月 19 日任期満了に伴う福生市農業委員会委員選挙を執行した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>告示日 平成 23 年 7 月 3 日(日)</li> <li>投票日 平成 23 年 7 月 10 日(日)</li> </ul> 立候補者が委員定数を超えず無投票となった。

(3) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 チャレンジ支援貸付事業委託  (社会福祉課)	3,500,000 円	学習塾、各種受験対策講座、通信講座及び補習教室の受講料並びに高校、大学等の受験料の捻出が困難な一定所得以下の世帯の子どもたちに、必要な資金の貸付業務を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数 203 件</li> <li>相談内訳 塾代 88 件 受験代 66 件 償還 49 件</li> </ul>
2 生活保護システム更新事業  (社会福祉課)	4,188,618 円	事務処理を効率化するとともに、生活保護を適正に実施することによる被保護者の援護及び自立促進を図るため、生活保護システムの更新を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>新生活保護システム使用等(電算機借上含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>契約期間 平成 23 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで</li> <li>料金総額(60 か月) 20,409,480 円</li> </ul> </li> <li>新システム分(平成 23 年 10 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで) <ul style="list-style-type: none"> <li>電算機借上料 679,770 円</li> <li>プログラム使用料 1,361,178 円</li> </ul> </li> <li>旧システム分(平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで) <ul style="list-style-type: none"> <li>電算機借上料 708,120 円</li> <li>プログラム使用料 1,439,550 円</li> </ul> </li> </ul>
3 介護保険事業計画及び障害福祉計画改定委託  (社会福祉課)	4,809,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者・障害者生活実態調査 福生市介護保険事業計画(第 5 期)及び第 3 期福生市障害福祉計画の策定に当たり、高齢者・障害者の生活実態及び福祉施策に対する要望等を把握するための調査を実施した。 成果品 「福生市高齢者・障害者生活実態調査報告書(データ)」</li> <li>介護保険事業計画改定 介護保険法第 117 条の規定に基づき、福生市介護保険事業計画(第 5 期)を策定した。 成果品 「福生市介護保険事業計画(第 5 期)」 300 部</li> <li>障害福祉計画改定 障害者基本法第 11 条第 3 項に基づく障害者計画を、これまで内包されてきた福生市地域福祉計画から独立させ、障害者自立支援法第 88 条の規定に基づく第 3 期福生市障害福祉計画と一体的に策定した。 成果品 「福生市障害者計画・第 3 期障害福祉計画」 300 部</li> </ul>

事業名等	事業費	内容と成果
4 障害福祉システム更新事業  (障害福祉課)	17,455,999 円	<p>既存の障害福祉システム機器の老朽化に伴い、平成 22 年 11 月に導入した住民情報システムに連携した障害福祉システムへ更新を行い、事務処理の効率化及び経常経費等の削減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新障害福祉システム使用等（電算機借上含む。） 契約期間 平成 24 年 2 月 1 日から平成 29 年 1 月 31 日まで 料金総額（60 か月） 15,540,630 円</li> <li>・新システム分（平成 24 年 2 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで） 電算機借上料 518,020 円 システム更新委託料 4,347,000 円</li> <li>・旧システム分（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 2 月 29 日まで） 電算機借上料 527,109 円 システム移行委託料（データ消去等含む。） 6,125,700 円 システム更新委託料 1,995,000 円 システム保守委託料 3,943,170 円</li> </ul>
5 重度身体障害者（児）訪問入浴サービス事業  (障害福祉課)	100,000 円	<p>家庭で入浴することが困難な在宅の重度身体障害者又は障害児（6 歳以上 65 歳未満）の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図るため、居宅に入浴車を派遣し、訪問入浴サービスを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 8 回</li> </ul>
6 重度身体障害児入浴サービス事業  (障害福祉課)	80,000 円	<p>家庭で入浴することが困難な在宅の重度身体障害児（6 歳以上 18 歳未満）の身体の清潔の保持、心身機能の維持及び家族等在宅介護者負担の軽減を図るため、福祉センターの特殊浴槽を活用した入浴サービスを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 16 回</li> </ul>
7 介護人材育成委託事業  (介護福祉課)	8,085,281 円	<p>介護分野における新たな雇用機会を創出するとともに、地域ニーズに応じた人材を育成し雇用に結びつけることを目的として、失業中である訪問介護員等の有資格者、現場における実務経験がない者等の新規雇用を、市内特別養護老人ホームに委託して行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託施設数 3 箇所</li> <li>・新規雇用者数 5 人</li> </ul>
8 高齢者熱中症等緊急対策事業  (介護福祉課)	6,258,535 円	<p>高齢者の熱中症予防のため、65 歳以上の高齢者に熱中症予防パンフレットと冷却用首ベルトを配布し、一般市民・老人クラブ会員及び介護事業者を対象に熱中症予防講習会を開催した。また、地域包括支援センター、在宅介護支援センター及び民生委員による戸別訪問を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット・冷却用首ベルト配布人数 11,925 人</li> <li>・一般市民・老人クラブ会員講習会参加人数 28 人</li> <li>・介護事業者講習会参加人数 47 人</li> </ul>
9 子育て支援カード協賛店等アンケート調査委託  (子ども育成課)	1,097,250 円	<p>平成 21 年 10 月から開始した「子育て支援カード」事業の利用状況と事業の更なる推進に当たっての実態や課題を把握し、今後の子育て世帯の生活支援施策に反映していくため、利用者、協賛店及び協賛店以外の事業所を対象にアンケート調査を実施した。（東京都緊急雇用創出事業を活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯 配布数 200 世帯 回収数 124 世帯 回収率 62.0%</li> <li>・協賛店 配布数 195 事業所 回収数 178 事業所 回収率 91.3%</li> <li>・協賛店以外 配布数 290 事業所 回収数 188 事業所 回収率 64.8%</li> </ul>

事業名等	事業費	内容と成果
10 すみれ保育園建設費補助金  (子ども育成課)	13,768,000 円	子育て環境の改善を図るため、社会福祉法人不動福祉会が実施するすみれ保育園新園舎建設に要する費用の一部を助成した。 平成 23 年度は、工事全体の出来高 7 % に対し補助を行った。 補助費内訳 ・ 保育所緊急整備事業補助金 (国負担) 10,490,000 円 ・ 東京都子供家庭支援区市町村包括補助金 (都負担) 1,979,000 円 ・ 保育所建設費補助金 (市負担) 1,299,000 円
11 子ども手当  (子育て支援課)	1,026,683,000 円	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、中学校修了前の児童を対象に、子ども手当を支給した。 (対象者が公務員の場合は所属機関にて支給) ・ 平成 23 年 2 月分から 9 月分まで 月額 13,000 円 ・ 平成 23 年 10 月分から平成 24 年 1 月分まで 0 ~ 3 歳未満 月額 15,000 円 3 歳 ~ 小学校修了前 月額 10,000 円 (第 3 子以降 月額 15,000 円) 中学生 月額 10,000 円 ・ 支給対象数 (平成 24 年 3 月末) 受給者数 4,358 人 児童数 6,889 人 平成 23 年度は平成 23 年 2 月分から平成 24 年 1 月分までを支給し、平成 24 年 2 月分及び 3 月分は平成 24 年度にて支給
12 子ども手当システム更新事業  (子育て支援課)	16,590,000 円	平成 23 年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法 (平成 23 年 10 月 1 日施行) に基づき、支給要件等、法の規定に対応したシステム改良及び平成 22 年 11 月に導入した住民情報システムに連携した子ども手当システムへの更新を行った。 ・ システム改良委託 1,260,000 円 ・ システム更新委託 13,702,500 円 ・ 移行データ作成委託 1,627,500 円 (平成 23 年度子ども手当に係る支給事務効率化促進事業補助金 (都補助) を活用)
13 子ども家庭支援センター備品購入  (子育て支援課)	1,678,116 円	国庫補助金の地域活性化交付金 (住民生活に光をそそぐ交付金) を活用して備品を購入し、児童虐待予防の充実を図った。 ・ 電動アシスト自転車 6 台 513,450 円 ・ プロジェクター・スクリーンセット 1 式 204,750 円 ・ ポータブルワイヤレスアンプ・マイクセット 1 式 130,647 円 ・ パーテーションブロック 8 個 334,425 円 ・ チャイルドシート 1 個 45,885 円 ・ 無線式遠隔通報非常ボタンシステム 1 式 45,675 円 ・ その他の備品 403,284 円
14 家庭児童相談システム一式購入  (子育て支援課)	6,405,000 円	都補助金の地域子育て創生事業補助金を活用して、家庭児童相談システムを導入し、児童相談のケース記録、統計処理等を迅速かつ効果的に実施し、相談業務の充実を図った。
15 母子・女性緊急一時保護事業  (子育て支援課)	0 円	夫等の暴力からの避難等で、緊急に保護を必要とする母子等に対し、公共の緊急一時保護施設等に入所させることができないときに、市の指定施設に一時入所させ必要な保護、相談、援助等を行い、自立への支援を講ずるための事業を開始した。 ・ 指定 2 施設と利用契約を締結 ・ 緊急一時保護申請件数 0 件

## (4) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 健康管理システム更新事業  (健康課)	9,264,598 円	<p>既存の健康管理システムのサポート終了に伴い、平成 22 年 11 月に導入した住民情報システムに連携した健康管理システムへ更新を行い、事務処理の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新健康管理システム使用等（電算機借上含む。） 契約期間 平成 24 年 2 月 1 日から平成 29 年 1 月 31 日まで 料金総額(60 か月) 11,132,940 円</li> <li>・新システム分（平成 24 年 2 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで） プログラム使用料 324,030 円 電算機借上料 47,068 円 健康管理システム更新委託料 4,714,500 円</li> <li>・旧システム分（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 1 月 31 日まで） システム保守委託料 819,000 円 システム移行委託料 3,360,000 円</li> </ul>
2 福生病院組合建設費負担金  (健康課)	428,102,000 円	<p>2 市 1 町（福生市、羽村市及び瑞穂町）で運営する公立福生病院の建て替えのための建設費を、負担割合に応じて負担金として支出し、安全で安心な医療サービスの充実を図った。</p>
3 前立腺がん検診事業  (健康課)	1,579,940 円	<p>平成 21 年度より開始した 50 歳から 80 歳までの 5 歳刻みの年齢の男性を対象とした検診を、50 歳以上の男性を対象とした検診に拡大して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数 11,594 人 受診者数 365 人 受診率 3.1%</li> <li>・印刷製本費 25,063 円</li> <li>・検診委託料 1,554,877 円</li> </ul>
4 妊婦健康診査委託・里帰り等妊婦健康診査費助成  (健康課)	30,283,660 円	<p>妊婦健康診査委託・里帰り等妊婦健康診査費助成に、成人 T 細胞白血病等の原因となるヒト白血病ウイルス - 1 型（H T L V - 1）の抗体検査を追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健康診査委託 28,895,170 円 受診件数 延べ 5,310 件</li> <li>・里帰り等妊婦健康診査費助成 1,388,490 円 助成対象件数 延べ 298 件</li> </ul>
5 ヒブワクチン接種事業  (健康課)	10,836,328 円	<p>乳幼児のインフルエンザ菌 b 型（H i b）による髄膜炎の発症を予防するため、生後 2 か月から 4 歳までの乳幼児に対し、ヒブワクチン接種に要する費用のうち、1 回につき自己負担額（1 割）を除く費用を公費で負担する助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数 2,346 人 接種者数 743 人 接種率 31.6%</li> <li>・印刷製本費 74,712 円</li> <li>・通信運搬費 90,680 円</li> <li>・接種委託料 10,670,936 円</li> </ul>
6 子宮頸がん予防ワクチン接種事業  (健康課)	12,979,306 円	<p>若年女性で発症率の高い子宮頸がんを予防するため、中学 1 年生から高校 1 年生までの女性に対し、子宮頸がん予防ワクチン接種に要する費用のうち、1 回につき自己負担額（1 割）を除く費用を公費で負担する助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数 1,077 人 接種者数 386 人 接種率 35.8%</li> <li>・印刷製本費 123,480 円</li> <li>・通信運搬費 24,640 円</li> <li>・接種委託料 12,831,186 円</li> </ul>



事業名等	事業費	内容と成果
7 小児用肺炎球菌ワクチン接種事業  (健康課)	15,335,425 円	肺炎球菌による髄膜炎等の感染症の発症を予防するため、生後2か月から4歳までの乳幼児に対し、小児用肺炎球菌ワクチン接種に要する費用のうち1回につき自己負担額(1割)を除く費用を公費で負担する助成を行った。 ・対象者数 2,346人 接種者数 770人 接種率 32.8% ・印刷製本費 79,527 円 ・通信運搬費 90,680 円 ・接種委託料 15,165,218 円
8 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業  (健康課)	3,183,560 円	高齢者の肺炎の発症及び重症化を予防するため、肺炎球菌ワクチン接種に要する費用のうち4,000円を公費で負担する助成を行った。 ・募集人数 500人 申込者数 868人 接種者数 781人
9 次世代モビリティ活用モデル事業  (環境課)	66,154,946 円	移動のためのアイテムとして、電動アシスト自転車・電気自動車を「次世代モビリティ」として貸し出すシステムを作り、化石燃料を使用した自動車の利用を抑制して温室効果ガスを削減し、環境にやさしいまちづくりの推進を図った。 ・購入内容 電気自動車(2台) 急速充電器(1基) 普通充電器(2基) 電動アシスト自転車(35台) 電動アシスト自転車用予備バッテリー(35個) サイクルシェアリングシステム(4台) ・メインステーション(まちなかおもてなしステーションくるみるふっさ)建設 ・サイクルシェアリングステーション整備(福生駅西口、牛浜駅東口、拝島駅北口各自転車駐車場内) ・事業PR用看板設置(拝島駅北口自転車駐車場、福生駅自由通路) ・カーシェアリング事業開始日 平成24年1月15日 ・サイクルシェアリング事業開始日 平成24年2月1日 ・収入金額 1,818,100 円 クリーンエネルギー自動車等導入促進補助金 1,670,000 円 (急速充電器(1基) 1,350,000 円 普通充電器(2基) 320,000 円) シェアリング利用料金 148,100 円 (1月分21,000円、2月分40,700円、3月分86,400円) ・二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )削減量 1120.5kg( ) 電気自動車及び電動アシスト自転車の走行距離とガソリン車で走行した場合の走行距離との比較による削減量
10 清潔で美しいまちづくり事業  (環境課)	8,725,500 円	福生市清潔で美しいまちづくり条例の施行に伴い、ポイ捨て及び犬のふんの放置の防止並びに路上喫煙等の規制のため、のぼり旗等条例周知用物品の設置、イベント及びパトロールの実施等、市民への条例の周知・啓発を行い、市民の快適な生活環境の確保を図った。

## (5) 商 工 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 ロケ支援・福生ドッグ ブランド構築事業  (シティセールス推進課)	7,443,000 円	映画やテレビドラマのロケ撮影の誘致及び市民エキストラやロケ 弁当業者の募集・紹介を行うことにより、映像を通じた福生市のP R及び市民の福生への愛着の増進並びに市内事業者の活性化を図っ た。 また、平成22年度に開発したご当地グルメ「福生ドッグ」のブラ ンド育成及びPR活動を展開し、市内事業者の新たな事業機会の創 出、メディアへの露出増加及び交流人口の拡大を図った。(東京都緊 急雇用創出事業を活用)
2 まちなかおもてなし事 業  (シティセールス推進課)	5,376,000 円	「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」において、 市内に在住の高齢者、障害者、子育て世帯等、日常の買い物が困難 な方を対象に、電気自動車などを活用した買い物代行サービスの実 施等、買い物弱者支援についての実証実験を実施した。 また、福生市観光案内所「くるみる ふっさ」の同所への移設及び 事業の継承を行い、市内外において、観光ガイドツアーなどの各種 イベントを重点的に実施するとともに、福生市及び友好交流都市(登 別市及び守山市)の地域ブランドの紹介、宣伝、販売等について の実証実験を実施し、観光案内機能の拡充を図った。(東京都緊急 雇用創出事業を活用)
3 観光資源マーケティング 調査委託事業  (シティセールス推進課)	7,140,000 円	福生市の観光資源における観光消費額等を調査し、観光の実態の 把握、経済波及効果の測定等を実施し、今後の観光行政に役立つ有 効性の高い報告書を作成した。また、報告書を基に、今後のイベン トをより効果的に実施し、まちの活性化及び商業振興に寄与するた めの指針とした。(東京都緊急雇用創出事業を活用)
4 福生七夕まつり委託  (シティセールス推進課)	30,815,000 円	平成23年3月11日の東日本大震災の発生を受け、福生七夕の起 源である被災地・仙台市に向けて、『福の生まれるまちから「元気」 を仙台へ 七夕でつながる復興への願い』をイベントコンセプト として七夕「トモダチ」作戦など、復興支援イベントを盛り込んで 実施した。電力事情にも十分配慮し、節電を徹底した、地球にやさ しい“エコ”な七夕まつりとして実施し、福生市の特色や魅力を都 内近県に広めるとともに、市内の商工業振興に寄与した。
5 福生市商業施設等補助 金  (シティセールス推進課)	2,770,000 円	東京都特定施策推進型事業費補助金(総事業費の5分の4を限度 に補助金を交付)を活用し、商店街装飾灯をLED灯に交換する4 商栄会(銀座商栄会、銀座中央商栄会、東銀座通り商栄会、牛浜商 栄会)に対し、商店街負担額の2分の1を限度に補助金を交付した。 装飾灯のLED化により、CO <sub>2</sub> 排出量の削減と電気料金の圧縮に よる次年度以降の商店街装飾灯補助金の削減を行った。
6 空き店舗対策事業補助 金  (シティセールス推進課)	0 円	空き店舗対策の一環として、市内の空き店舗を利用してコミュニ ティビジネス事業を新規に開業する者又は起業して1年未満の事業 者に対して、1年間の家賃補助(家賃の2分の1、月5万円上限) 又は改装費等補助60万円のどちらかを補助するもので、補助件数は 2件までとした。今年度は8月と12月に募集を行ったが、応募件数 は0件だった。
7 まちづくり振興推進事 業委託  (シティセールス推進課)	6,300,000 円	平成22年度に実施したまちづくり振興研究等委託に引き続く事業 として、人口流出要因の把握、コミュニティビジネス推進のための セミナーの開催、福生市の魅力再発見プロジェクト、商店街振興ワ ークショップの開催と活動支援及び報告書の作成を委託した。(東京 都緊急雇用創出事業を活用)

事業名等	事業費	内容と成果
8 魅力あるまちづくり事業  (シティセールス推進課)	2,520,192 円	市の重点施策分野である「雇用」「住宅」「教育」分野に関して、有識者の講演とパネルディスカッションを行うシンポジウムを開催した。また、市民による「わがまちの宝探し」発表会もプログラムの1つとした。シンポジウム開催に当たり、シンポジウムの広報を広報宣伝に長けた業者へ委託し、効果的かつ積極的な広報活動を行った。(財団法人自治総合センター助成金を活用)
9 地域ポータルサイト作成委託  (シティセールス推進課)	3,675,000 円	福生市の魅力を発信することを目的に、福生市に関する様々な情報への入り口となる地域ポータルサイトの作成を委託した。地域産業の活性化及び自主財源の確保のため、トップページにバナー広告枠 10 枠を設けた。(東京都緊急雇用創出事業を活用)
10 消費者相談の充実  (シティセールス推進課)	1,307,360 円	消費者被害防止のため、プロジェクター、スクリーン、パソコン、ワイヤレスアンプ、ワイヤレスマイク及び電動アシスト自転車を購入し、市内で積極的に出前講座を開催した。また、講座や消費者展に併せて啓発パンフレットを配布することで効果的に啓発を行った。(東京都消費者行政活性化交付金を活用)
11 フリーマーケット(消費者の市)事業  (シティセールス推進課)	200,000 円	行政が主体で実施してきたガレージセール事業について、自立した消費者の育成を図るため、消費者リーダー、市民及び民間団体を主体とした実行委員会を組織し、事業を委託することで運営主体を移行した。また、名称を「フリーマーケット」に改め、出店料を有料化した。 ・出店料 1,000 円 ・開催回数 年 4 回 ・事業費削減効果 108,000 円(対前年度比)

(6) 土木費

事業名等	事業費	内容と成果
1 牛浜駅自由通路整備事業  (施設課)	184,507,620 円	エレベーター・エスカレーター等の設置による安全性と利便性の向上及びバリアフリー化を図るため、JR牛浜駅の駅舎改修工事を今年度より着手した。 ・工事委託料 183,253,920 円 ・仮設トイレ借上料 157,500 円 ・工事請負費 1,096,200 円
2 市道第 1160 号線道路改良事業(宿橋通り)  (施設課)	8,137,500 円	景観に配慮した安心で安全な、歩車共存の道路として整備するため、今年度は詳細設計を実施した。 ・延長 300m 道路詳細設計 一式 電線共同溝詳細設計 一式 ・設計委託料 8,137,500 円
3 福生市大字福生 265 番地先道路新設事業  (施設課)	1,942,500 円	道路新設に当たり、表層の舗装を実施した。 ・延長 152.7m 幅員 5.0m 舗装面積 715.6 m <sup>2</sup> ・工事請負費 1,942,500 円
4 市道幹線 -19 号線外 1 路線改良事業  (施設課)	19,530,000 円	歩道拡幅等の道路改良工事を実施するため、今年度は設計委託等を実施した。 ・幹線 - 19 号線 延長 1,190m ・幹線 - 2 号線 延長 720m ・中心線測量、縦横断測量、道路詳細設計 ・設計委託料 19,530,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
5 市道第 1202 号線舗装 事業 (施設課)	1,971,900 円	舗装の著しい損傷に対処するため、舗装打替工事を実施した。 ・延長 117m 幅員 5.0m 舗装面積 514 m <sup>2</sup> ・工事請負費 1,971,900 円
6 市道第 1043 号線舗装 改良事業 (施設課)	3,843,000 円	舗装の著しい損傷に対処し、歩行者の安全に配慮するため、舗装打替工事及びカラー舗装を実施した。 ・舗装打替工事 606.7 m <sup>2</sup> ・カラー舗装 153.7 m <sup>2</sup> ・工事請負費 3,843,000 円
7 市道田園 71 号線法面 防護事業 (施設課)	11,550,000 円	法面の一部に亀裂があり、また、その頂上部において陥没も発生していたので、崩落防止工事を実施した。 ・法面防護工 法枠工 48.9 m <sup>2</sup> アンカー工 9 本 ・工事請負費 11,550,000 円
8 永田橋左岸自転車歩行者 道付属施設事業 (施設課)	7,405,650 円	永田橋の架け替えに伴い、横断地道及び取付道に、サイクリング道路としての設備を整備した。 ・自転車用車止め 6 基 ・貯留浸透ます設置 1 基 ・LED照明設置 22 基 ・工事請負費 7,405,650 円
9 都市計画マスタープラン 策定支援委託 (まちづくり計画課)	5,460,000 円	福生市における都市計画の基本計画として、平成 10 年に定めた現計画について、平成 22 年度及び平成 23 年度の二か年をかけて見直しを行い、平成 33 年度までの新たな都市計画マスタープランを策定するに当たり、必要な調査及び業務委託を行った。 ・成果品 福生市都市計画マスタープラン A 4 判 200 部 福生市都市計画マスタープラン(概要版) A 4 判 8 頁 3,000 部 ・都市計画マスタープラン策定支援委託料 5,460,000 円
10 公園・緑地、道路等施設 の総点検事業 (施設課)	6,805,997 円	市内施設の適正な維持管理を行うために、施設(公園、緑地、道路等)の点検を嘱託職員 2 名、臨時職員 2 名による 2 グループ体制により実施した。 ・嘱託職員報酬 3,415,424 円 ・臨時職員賃金 2,732,400 円 ・自動車借上料 297,360 円 ・消耗品購入 257,773 円 ・燃料費 103,040 円
11 緑地樹木等調査委託 (施設課)	1,398,600 円	平成 24 年度に見直しを予定している緑の基本計画の基礎資料とするため、原ヶ谷戸緑地(原ヶ谷戸どんぐり公園)の樹木、植物、土等を調査した。 ・緑地樹木等調査委託 1,398,600 円
12 福生南公園駐車場利用 状況調査委託 (施設課)	4,247,460 円	福生南公園駐車場の有料化を検討するに当たり、福生南公園駐車場の利用状況の調査を実施し、現状の把握を行った。(東京都緊急雇用創出事業臨時特例補助金を活用) ・公園駐車場利用状況調査委託 4,247,460 円

事業名等	事業費	内容と成果
13 倒木等処理委託  (施設課)	7,952,385 円	平成 23 年 9 月 21 日(水)の台風 15 号により公園等に倒木の被害が発生したため、市内造園業者による対応を図った。 伐採本数 177 本、剪定本数 66 本、総計 243 本 ・多摩川中央公園外 1 倒木等処理委託 2,194,500 円 ・原ヶ谷戸どんぐり公園外 2 倒木等処理委託 2,642,850 円 ・福生柳山公園外 6 倒木等処理委託 895,020 円 ・福生公園(文化の森)外 3 倒木等処理委託 1,473,465 円 ・みずくらいど公園外 1 倒木等処理委託 546,000 円 ・永田児童遊園外 2 倒木等処理委託 200,550 円
14 武蔵野台公園複合遊具 改修事業  (施設課)	4,635,750 円	武蔵野台公園の複合遊具が老朽化していることから、既存の複合遊具を撤去し、新設の複合遊具への取替えを行った。 ・武蔵野台公園遊具設置工事 4,635,750 円
15 福生南公園整備事業  (施設課)	66,945,200 円	平成 19 年 9 月の台風 9 号の被害に伴い、一部修復後、仮開園中であった福生南公園について、全面開園に向けた整備事業を実施した。 ・全体事業費 103,555,200 円 平成 22 年度分 36,610,000 円 平成 23 年度分 66,945,200 円 ・福生南公園改修等工事設計委託 5,880,000 円 ・福生南公園改修等工事(その 1) 59,325,000 円 国庫債務負担行為 平成 22 年度分 15,237,000 円 平成 23 年度分 44,088,000 円 ・福生南公園改修等工事(その 2) 37,321,200 円 平成 23 年度繰越明許 平成 22 年度分 14,920,000 円 平成 23 年度分 22,401,200 円 ・福生南公園改修等工事監理委託 1,029,000 円 国庫債務負担行為 平成 22 年度分 573,000 円 平成 23 年度分 456,000 円
16 第三市営住宅エレベーター 設置事業  (まちづくり計画課)	148,868,997 円	第三市営住宅の 5 棟にエレベーターと各階共通の歩廊を設置し、バリアフリー化を図るための事業として、今年度は、第 1 号棟・第 2 号棟にエレベーター及び歩廊を設置した。 ・消耗品費 13,647 円 ・監理委託料 3,440,850 円 ・工事請負費 145,414,500 円 事業予定 平成 24 年度 第 3 号・第 5 号棟 平成 25 年度 第 4 号棟

## (7) 消 防 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 消防ポンプ自動車更新事業 (安全安心まちづくり課)	19,041,977 円	老朽化及び排出ガス規制により使用できなくなる消防ポンプ自動車を、新たな自動車運転免許制度に対応可能な小型車両に更新した。 ・車両型式 いすゞ C D - 型 ・配車分団 第四分団
2 消火栓設置等委託 (安全安心まちづくり課)	9,018,620 円	消火栓の設置等について、東京都との協定に基づき事業を委託した。 ・新設 1 件 516,739 円 ・耐震化に伴う移設 14 件 8,374,302 円 ・道路工事に伴う補修 1 件 127,579 円
3 消防団車庫改修事業 (安全安心まちづくり課)	3,570,000 円	災害時の活動拠点となる消防団車庫、火の見やぐら等の塗装工事及び屋上防水工事を行った。 ・実施分団 第一分団 ・工事費 3,570,000 円
4 災害対策緊急事業 (安全安心まちづくり課・施設課)	50,162,996 円	土砂災害警戒区域等の安全対策として、下の川緑地内の高木化した樹木の剪定・伐採を行った。また、災害発生時の情報伝達を確実にするため、危険度の高い特別警戒区域内居住者に対し戸別受信機の貸与を行い、防災行政無線の音達調査を行った。 ・下の川緑地樹木剪定委託(剪定・伐採 458 本) 47,999,996 円 ・土砂災害特別警戒区域戸別受信機(30 台) 1,638,000 円 ・防災行政無線音達調査委託(43 箇所) 525,000 円

## (8) 教 育 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 就学援助システム導入 (指導室)	651,924 円	住民情報システムに連携した就学援助システムを導入することにより、業務の軽減を図った。 ・就学援助システム使用 契約期間 平成 23 年 4 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで 料金総額(57 か月) 3,096,639 円
2 外国人児童生徒就学支援事業 (指導室)	348,096 円	市内小・中学校からの申請を受け、NPO 法人と連携して、外国人児童・生徒の就学支援を行った。
3 教育相談活動助言者報償金 (指導室)	206,400 円	教育相談室における相談活動に大学教授をスーパーバイザーとして招き、教育相談活動の充実を図った。
4 教育センター事業 (指導室)	539,206 円	教育センター(教育相談室、そよかぜ教室、教員研究・研修所)のホームページを開設し、教育センターの機能について各学校及び市民に広く広報した。
5 福生市スクールカウンセラー事業 (指導室)	4,758,652 円	市内小・中学校 6 校に都費でスクールカウンセラーが配置されているが、未配置校に市のスクールカウンセラーを配置して、教育相談活動の充実を図った。
6 学校 ICT 支援員活用事業 (指導室)	11,445,000 円	教職員のパソコンのスキルの向上、パソコン教室や校務用パソコンによる教材等への情報機器活用方法の助言等、学校における教職員への支援を行った。

事業名等	事業費	内容と成果
7 学校と家庭の連携推進事業 (指導室)	2,137,000 円	いじめ、不登校、暴力行為など生活指導上の課題に対応するため、小学校3校(第二、三、六)、中学校3校に家庭と子どもの支援員及びスーパーバイザーを配置し、課題に対して地域全体で取り組む教育体制及び地域や学校の実態に即した効果的な取組の実現を図った。
8 自校の教員による採点調査研究校事業 (指導室)	200,000 円	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」での自校の教員による採点の試行において課題等を明らかにし、次年度以降の調査に資するよう、第三小学校及び第一中学校を研究校として指定し、調査及び研究を行った。
9 小学校教育用パソコン等整備事業 (指導室)	12,501,615 円	小学校全校のパソコン教室のパソコン 287 台の契約更新を行い、書画カメラ 49 台、授業用パソコン 28 台を配備して、学習活動の充実を図った。
10 小学校校庭改良事業  (庶務課・施設課)	21,880,375 円	校庭の排水性の悪化により、雨天後の授業に支障を来しているため、第二小学校校庭の表土の補充及び排水設備の整備を行った。また、緑化対策及びヒートアイランド対策とともに教育活動の活発化を目的として校庭の一部芝生化を実施した。第一小学校及び第三小学校については、実施設計を行った。 第二小学校 19,811,875 円 ・校庭整備 クレイ舗装 4159 m <sup>2</sup> 芝生化 305 m <sup>2</sup> ・監理委託料 686,700 円 ・工事請負費 18,795,000 円 ・備品購入費 312,690 円 ・事務費等 17,485 円 第三小学校 1,018,500 円 ・実施設計 第一小学校 1,050,000 円 ・実施設計
11 第四小学校校庭防球ネット改良事業  (庶務課・施設課)	8,156,400 円	社会体育における校庭開放に伴い、野球やサッカーのボールが道路上に飛び出し危険であるため、既設の防球ネットの高さを高上げし、安全確保を図った。 ・防球ネット 高さ 10m 延長 83.3m フェンス 高さ 3m 延長 76m ・監理委託料 491,400 円 ・工事請負費 7,665,000 円
12 中学校教育用パソコン等整備事業 (指導室)	316,050 円	中学校全校に書画カメラ 18 台、授業用パソコン 12 台を配備して、学習活動の充実を図った。
13 第三中学校通級指導学級設置事業  (庶務課・施設課)	4,512,900 円	通級指導学級の開設に伴い、既存校舎の改造及び増築、図書室移動便所改修等の工事を行うための実施設計を行った。 ・設計委託料 4,512,900 円

事業名等	事業費	内容と成果
14 給食献立システム更新事業  (学校給食課)	1,590,442 円	<p>食材の成分表などを、最新の数値に更新するとともに、食材の発注、献立表作成などの栄養管理業務の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新給食献立管理システム使用等（電算機借上含む。） 契約期間 平成 23 年 7 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日まで 料金総額（60 か月） 1,154,160 円</li> <li>・新システム分(平成 23 年 7 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで) 給食献立管理システム更新委託料 1,120,000 円 給食献立管理システム保守委託料 85,050 円 給食献立管理システム使用料 124,929 円 給食献立管理システム電算機借上料 48,195 円</li> <li>・旧システム分(平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日まで) 給食献立管理システム使用料 212,268 円</li> </ul>
15 給食用食器購入  (学校給食課)	11,356,800 円	<p>耐用年数の経過した市内小学校全 7 校の食器について、汚れや着色に強く、安全性及び耐久性に優れた材質のものに買換えを行い、衛生管理の強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食器の種類 3 種類（角仕切皿、深皿、ボール）</li> <li>・数量 角仕切皿、深皿 各 4,000 枚 ボール 4,000 個</li> </ul>
16 給食用施設備品購入 (学校給食課)	1,785,000 円	<p>第二給食センターのフードスライサーが老朽化したため、ドライシステム対応の機器に買換えを行い、安全で安定した給食の提供に努めた。</p>
17 青少年育成地区委員長会主催事業補助事業  (生涯学習推進課)	1,800,000 円	<p>地区委員長会主催事業の軽スポーツ&amp;とん汁会において、ダンスステージを用意し、市内在住の小中学生及び高校生が日頃のダンス練習の成果を発表する場を提供した。ダンス発表の場という新たな試みにより、日頃、交流の少ない小中学生及び高校生と大人とのコミュニケーションが取れ、地域の青少年の健全育成の促進に寄与した。</p>
18 学校支援地域組織事業  (生涯学習推進課)	1,397,607 円	<p>学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的として、各学校の学校支援コーディネーターが、学校のニーズと支援者である地域のサポーター（ボランティア）を結びつけ、学習支援活動、図書の整理や読み聞かせ、芝生の手入れ、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時等における子どもの安全確保等の支援活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設時期及び学校名 4 月に第四小学校、6 月に第一小学校、10 月に第二小学校、第一中学校、平成 24 年 1 月に第三小学校の小学校 4 校、中学校 1 校の計 5 校で開設済み</li> </ul>



事業名等	事業費	内容と成果
19 福生市郷土資料室収蔵 管理公開システム（S a a S方式）更新事業  （生涯学習推進課）	1,974,420 円	平成 23 年 10 月のシステム更新に当たり、サーバーを自館設置方式からサーバー管理センター設置方式に切り替え、インターネット等のネットワーク経由で管理しサービス料を支払う形態（S a a S方式）へ変更し、コストの削減と情報管理における安全性の向上を図った。 ・新郷土資料室収蔵管理システム使用等（電算機借上含む。） 契約期間 平成 23 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで 料金総額（60 か月） 9,194,220 円 ・新システム分（平成 23 年 10 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで） 電算機借上料 284,130 円 プログラム使用料 635,292 円 ・旧システム分（平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日まで） 電算機借上料 128,520 円 プログラム使用料 926,478 円
20 福生歴史物語(復刻版) 印刷製本  （生涯学習推進課）	922,950 円	平成 11 年に刊行した「福生歴史物語」の復刻版を 300 部発行し、市史のさらなる普及に努めた。
21 市史資料デジタルデー タ化事業  （生涯学習推進課）	1,086,750 円	市史資料として収蔵している古文書等のマイクロフィルム約 18 万 7 千点をデジタルデータ化し、資料保存の機能向上と活用の効率化を図った。（東京都緊急雇用創出事業を活用）
22 市民会館外壁改良工事   （公民館）	54,907,335 円	市民会館外壁改良事業を実施するまでの間、利用者の安全を確保するためにネットによる外壁タイル落下防護工事を実施した上で、落下のおそれのある外壁の改良工事を実施した。（平成 22 年度繰越明許） ・市民会館敷地内管理業務委託料 244,335 円 ・市民会館外壁改良事業 54,663,000 円 設計委託料 2,919,000 円 監理委託料 1,344,000 円 工事請負費 50,400,000 円
23 中央図書館ビジネス・ しごと支援推進事業  （図書館）	4,677,875 円	ビジネス・しごと支援のためスペースを確保し、ビジネス関連資料、インターネット及びデータベースを活用し、起業情報及びビジネス情報を提供した。（東京都緊急雇用創出事業を活用） ・臨時職員賃金（2 名） 2,519,700 円 ・消耗品費 99,991 円 ・備品購入費 2,058,184 円 （図書費 999,994 円）
24 図書館資料整備事業   （図書館）	7,877,857 円	I C タグ遡及貼付、分類ラベル等の貼り替えによる装備の新調作業、資料のアルコール消毒・清掃・補修、寄贈資料の既存資料との入替作業等図書館資料の整備を行った。（東京都緊急雇用創出事業を活用） ・臨時職員賃金（3 名） 3,786,900 円 ・消耗品費 126,493 円 ・I C タグ購入費 3,748,500 円 ・貸出確認装置借上料 215,964 円

事業名等	事業費	内容と成果
25 福生市地域資料電子化委託  (図書館)	6,615,000 円	図書館で所蔵する福生市の地域資料(事務報告書、広報等)について、劣化防止及び活用のため、精度が高く再現性に優れたデジタルの形で記録し、図書館ホームページで広く情報発信を図った。(東京都緊急雇用創出事業を活用) ・福生市地域資料電子化委託料 6,615,000 円
26 児童図書等購入事業  (図書館)	3,751,884 円	図書館の資料・情報センター機能として児童図書を整備し、学校、保育所、幼稚園、保健センター、病院などへ団体貸出しを実施し、子ども読書活動の推進を図った。また、中央図書館木製椅子 35 脚の買換えとブックトラック 1 台を購入した。(地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)を活用。平成 22 年度繰越明許) ・備品購入費 3,751,884 円 (図書費 2,999,979 円)
27 中央図書館外壁等改良事業  (図書館)	1,869,000 円	特殊建築物定期調査により、タイル接着面の空洞化が判明したため、外壁改良並びに非常階段手すり、書庫内クラック及び防火シャッター安全装置の改修のための設計委託を実施した。(地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)を活用。平成 22 年度繰越明許) ・設計委託料 1,869,000 円
28 さくら会館屋上防水等改良事業  (公民館)	8,137,500 円	雨漏りを防ぐため、さくら会館屋上の防水工事を実施した。 ・設計委託料 535,500 円 ・工事請負費(その1) 7,245,000 円 ・工事請負費(その2) 357,000 円
29 茶室福庵空調機修繕  (公民館)	2,394,000 円	平成 5 年開設当初に設置した空調機器が老朽化したため、取替修繕を行った。
30 福生市スポーツ振興基本計画策定事業  (スポーツ振興課)	6,785,000 円	生涯スポーツ社会の実現に向け、行政、市民、スポーツ関係団体等が協働してスポーツ推進に関わる施策を総合的かつ計画的に実行するため、「福生市スポーツ推進計画」を策定した。本計画策定に当たっては、スポーツ推進審議会(平成 23 年 9 月 30 日までの名称は「スポーツ振興審議会」)を設置し、市民、有識者等の意見を取り入れ、計画期間を平成 24 年度から平成 33 年度までの 10 年間とした。 ・スポーツ振興審議会委員報酬 348,500 円 ・スポーツ振興基本計画支援委託料 6,436,500 円
31 市営プール修繕事業  (スポーツ振興課)	740,250 円	50m プール床面及び壁面タイル破損箇所の修繕を実施した。 ・修繕料 740,250 円
32 福生野球場運営事業  (スポーツ振興課)	6,828,209 円	これまで中央体育館で行っていたグラウンドの使用申請事務を、福生野球場管理棟で開始し、市民サービスの向上及び指定管理者制度導入の基盤整備を図った。 ・管理業務委託料(福生野球場分) 6,774,659 円 ・電算機借上料 40,950 円 (平成 23 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで) 賃貸借(60 か月)料金総額 409,500 円 ・管理棟警備委託料 12,600 円

事業名等	事業費	内容と成果
33 福東グランド駐車場整備事業  (スポーツ振興課)	5,230,916 円	福東グランド利用者の利便性の向上のため、不足している駐車場の整備を実施した。 ・整備概要 駐車場面積 1,449 m <sup>2</sup> 駐車場(一般)37台、(障害者用)3台 ・工事請負費 5,230,916 円
34 屋外体育施設券売機更新事業  (スポーツ振興課)	1,483,209 円	屋外体育施設(福生野球場、市営競技場、武蔵野台テニスコート、福東グランド、南公園、市営プール2台)6施設、7台の券売機を更新するとともに、高額紙幣対応型を導入し、利用者の利便性の向上を図った。 ・市営プール券売機借上料 423,774 円 (平成23年7月1日から平成28年6月30日まで) 賃貸借(60か月)料金総額 2,825,160 円 ・屋外体育施設券売機借上料 1,059,435 円 (平成23年7月1日から平成28年6月30日まで) 賃貸借(60か月)料金総額 7,062,900 円
35 屋外体育施設備品購入事業  (スポーツ振興課)	1,608,453 円	福生野球場に可動式フェンス(50枚)及び多目的ラインカー(1台)を購入した。 ・備品購入費 可動式フェンス 1,443,750 円 多目的ラインカー 112,350 円 学校開放備品 52,353 円
36 体育館券売機更新事業  (スポーツ振興課)	254,268 円	中央体育館券売機を更新するとともに、高額紙幣対応型を導入し、利用者の利便性の向上を図った。 ・体育館券売機借上料 254,268 円 (平成23年7月1日から平成28年6月30日まで) 賃貸借(60か月)料金総額 1,695,120 円
37 体育館備品購入事業  (スポーツ振興課)	601,335 円	中央体育館にスポットエアコン4台、福生地域体育館に液晶テレビ、VTR一体型ブルーレイディスクレコーダー、ディスプレイスタンド(収納ボックス含む。)各1台を配備した。 ・備品購入費 601,335 円

## 2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 市税等収納代行業務委託（国保分） （収納課）	1,148,149 円	平成 23 年度からコンビニエンスストア等でも国民健康保険税を収納できるよう、収納代行業務を委託し、納税環境の整備・充実を図った。
2 一般被保険者療養給付費給付 （保険年金課）	3,553,719,277 円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 261,210 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 190,395 円 ・一般被保険者一人当たり年間受診件数 13.68 件 ・1 件当たり費用額 19,100 円
3 退職被保険者等療養給付費給付 （保険年金課）	272,685,091 円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 320,031 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 223,512 円 ・退職被保険者等一人当たり年間受診件数 16.22 件 ・1 件当たり費用額 19,735 円
4 一般被保険者療養費支給 （保険年金課）	53,944,945 円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 3,830 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 2,890 円 ・支給件数 7,172 件 ・1 件当たり保険者負担額 7,522 円
5 退職被保険者等療養費支給 （保険年金課）	3,322,005 円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 3,890 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 2,723 円 ・支給件数 476 件 ・1 件当たり保険者負担額 6,979 円
6 一般被保険者高額療養費支給 （保険年金課）	419,657,626 円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が 80,100 円（上位所得者については 150,000 円、低所得者については 35,400 円）を超えた場合に支給した。 ・支給件数 6,487 件 ・1 件当たり保険者負担額 64,692 円
7 退職被保険者等高額療養費支給 （保険年金課）	33,604,975 円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が 80,100 円（上位所得者については 150,000 円、低所得者については 35,400 円）を超えた場合に支給した。 ・支給件数 348 件 ・1 件当たり保険者負担額 96,566 円
8 出産育児一時金支給 （保険年金課）	49,359,450 円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。 ・支給件数 118 件 ・1 件当たり支給額 390,000 円 6 件 420,000 円 112 件（産科医療補償制度に加入している場合）

事業名等	事業費	内容と成果
9 葬祭費支給 (保険年金課)	4,950,000 円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。 ・支給件数 99 件 ・1 件当たり支給額 50,000 円
10 結核・精神医療給付金支給 (保険年金課)	5,012,848 円	被保険者が「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に自己負担額（高額療養費を含む。）を支給した。 ・支給件数 4,260 件 ・1 件当たり支給額 1,177 円
11 後期高齢者支援金等 (保険年金課)	898,057,012 円	後期高齢者医療制度の被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、支援金及び事務費を拠出した。 ・後期高齢者支援金等 897,969,386 円 ・事務費拠出金 87,626 円
12 介護給付費納付金 (保険年金課)	378,262,853 円	介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち 40 歳以上 64 歳までの第 2 号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。 ・54,191 円×7,279 人 - 16,193,436 円（平成 21 年度精算分）
13 共同事業拠出金 (保険年金課)	699,475,932 円	国民健康保険の財政の安定化を図るため、保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業に要する費用を国民健康保険団体連合会に納めた。 ・高額医療費共同事業拠出金 135,656,144 円 ・保険財政共同安定化事業拠出金 563,817,929 円 ・その他共同事業事務費拠出金 1,859 円
14 高額療養費資金貸付 (保険年金課)	15,416,532 円	被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。 ・貸付件数 118 件 ・貸付金額 15,416,532 円 ・費用額 71,802,103 円
15 保養施設宿泊費補助 (保険年金課)	18,000 円	被保険者の健康の保持、増進を図るため、市が指定する保養施設を利用した被保険者の宿泊費の補助を行った。 ・補助対象者 6 人 ・1 件当たり補助金額 大人 3,000 円×6 人
16 特定健康診査・特定保健指導事業 (健康課)	44,549,304 円	平成 20 年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査・特定保健指導を実施した。 ・特定健康診査 対象者 11,732 人 受診者 5,381 人 受診率 45.9% ・特定保健指導 対象者 631 人 積極的支援参加者 32 人 動機づけ支援参加者 64 人 実施率 15.2%

### 3 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護保険電算機保守委託 (介護福祉課)	3,311,385 円	介護保険事務処理を円滑に行うため、電算機、システム及び認定審査会用機器の保守委託を行った。
2 介護保険事務処理システム更新委託 (介護福祉課)	16,978,500 円	介護保険事務処理システムを基幹システムに統合し、事務処理の効率化等を図った。 ・システム更新委託料 5,638,500 円 ・システム移行委託料 11,340,000 円
3 介護保険関係電算機器借上 (介護福祉課)	3,347,997 円	介護保険事務処理システム電算機及び認定審査会用機器を借り上げるにより、介護保険事務の効率化を図った。
4 介護保険料収納代行業務導入委託(コンビニ収納業務) (収納課)	392,280 円	平成 24 年度から介護保険料のコンビニエンスストア収納を実施するため、システムの構築、環境の整備等の準備業務を委託した。
5 認定審査会委員報酬 (介護福祉課)	5,394,000 円	任命された認定審査会委員により、要介護状態区分判定を行った。
6 認定調査嘱託員報酬 (介護福祉課)	5,658,000 円	要介護状態区分判定のため、要介護認定調査嘱託員による訪問調査を行った。
7 主治医意見書作成料 (介護福祉課)	8,323,350 円	要介護状態区分判定のため、主治医に意見書の作成を依頼した。
8 要介護認定調査委託 (介護福祉課)	58,800 円	遠隔地の認定調査については、当該地の指定居宅介護支援事業者に訪問調査を委託した。
9 介護サービス等給付費 (介護福祉課)	2,670,731,962 円	要介護認定(要介護度 1 から 5)を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
10 介護予防サービス等給付費 (介護福祉課)	70,112,230 円	要支援認定(要支援度 1・2)を受けた被保険者に対して、介護予防サービスを給付した。
11 審査支払手数料 (介護福祉課)	3,984,205 円	介護給付費及び公費負担等に関する審査並びに支払事務を、東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
12 高額介護サービス費 (介護福祉課)	59,308,313 円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護サービス費を支給した。
13 高額介護予防サービス費 (介護福祉課)	28,514 円	要支援認定を受けて介護予防サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護予防サービス費を支給した。
14 高額医療合算介護サービス費 (介護福祉課)	5,634,138 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護サービス費を支給した。

事業名等	事業費	内容と成果
15 高額医療合算介護予防 サービス費 (介護福祉課)	27,445 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護予防サービス費を支給した。
16 特定入所者介護サービス費 (介護福祉課)	126,855,150 円	低所得者の要介護者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所介護サービス費を支給した。

#### 4 後期高齢者医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 電算処理委託 (保険年金課)	484,050 円	後期高齢医療保険料の本算定により決定した保険料の納付書及び決定通知書の作成と封入処理を委託し、事務処理の効率化を図った。
2 広域連合納付金 (保険年金課)	796,440,316 円	<p>後期高齢者医療の事務は、都内区市町村で構成する東京都後期高齢者医療広域連合が、保険料の徴収事務及び健康増進事業以外の事業を執行しており、その事業に必要な負担金を納めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療養給付費負担金 312,638,207 円</li> <li>・保険料等負担金 357,856,800 円</li> <li>・保険基盤安定負担金 64,970,955 円</li> <li>・事務費負担金 17,256,514 円</li> <li>・保険料軽減措置負担金 43,717,840 円</li> </ul>
3 保健事業 (保険年金課)	16,358,077 円	<p>後期高齢者の健康増進を図ることを目的に、健康診査や近隣の温泉施設の利用助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査費 15,890,160 円</li> <li>・健康増進費 467,917 円</li> </ul>
4 葬祭費支給 (保険年金課)	16,800,000 円	<p>被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給件数 336 件</li> <li>・1件当たり支給額 50,000 円</li> </ul>



## 5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 雨水処理設備整備事業  (施設課)	19,262,560 円	中央排水区のうち、熊川地区(熊川 793 番地付近、熊川 887 番地付近)の冠水が見られる箇所について、雨水管敷設の設計及び工事を実施した。 ・設計委託料 3,255,000 円 ・工事請負費 16,007,560 円
2 雨水幹線整備事業  (施設課)	28,875,000 円	熊川福東地区の雨水処理が不十分であり、冠水箇所があることから、これを解消するため、平成 24 年度から当該地区を 3 工区に分けて実施する雨水管整備工事の設計委託を行った。 ・設計委託料 28,875,000 円